必修問題

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（計90点）

得点　　/100

教科書 p.144–145

楚人に①盾と矛とを鬻ぐ者有り。②之を誉めて曰はく、「吾が盾の堅きこと、能く陥すもの莫きなり。」と。又、ⓐ其の矛を誉めて曰はく、「吾が矛の利きこと、物に於いて陥さざる無きなり。」と。或ひと曰はく、「③子の矛を以つて、子の盾を陥さば、何如。」と。ⓑ其の人応ふること能はざるなり。

ア楚の国の人に盾と矛とを売る者がいた。その盾を自慢して言うには、「④私の盾の堅いこと（といったら）、突き通せるものはないのだ。」と。更に、その矛を自慢して言うには、「イ私の矛の鋭いこと（といったら）、どんなものでも突き通さないものはないのだ。」と。（すると、）ウある人が言うには、「エあなたの矛で、あなたの盾を突いたら、どうであるか。」と。⑤その人は答えることができなかったのである。

〈「矛盾」より〉

(1) ——線①「盾と矛とを鬻ぐ者」は、どこの国の人ですか。（5点）

(5) ——線④「私の盾の堅いこと（といったら）、突き通せるものはないのだ。」とありますが、これと同じ意味になるように、次の文の□あ・いに当てはまる言葉を、あは六字、いは二字で書きなさい。（5点×2）

・私の盾はどんなものでも□あほど□いのだ。

(6) 「私」は、矛についてはどのように自慢していましたか。十五字以内で簡潔に書きなさい。（10点）

(7) ——線⑤「その人は答えることができなかったのである。」について、次の各問いに答えなさい。

1 「その人」とは異なる人物を指す言葉を、現代語訳の——線ア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。（5点）

2 なぜ「答えることができなかった」のですか。次の文の□に当てはまる言葉を、それぞれ書きなさい。（5点×3）

・堅い□と鋭い□の話は□が合っていないことを言い当てられたから。

(2) ——線②「之を誉めて曰はく」について、次の各問いに答えなさい。

1 「之」とは、何を指していますか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。（3点）

ア 楚人　イ 盾　ウ 矛　エ 盾と矛

2 「曰はく」の主語は誰ですか。現代語訳の中から八字で抜き出しなさい。（5点）

(3) 〰〰線ⓐ「其の矛を誉めて曰はく」、ⓑ「其の人応ふること能はざるなり」を現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書きなさい。（5点×2）

ⓐ

ⓑ

(4) ——線③「子の矛を以つて」について、次の各問いに答えなさい。

1 「子（＝あなた）」とは、誰のことですか。現代語訳の中から抜き出しなさい。（5点）

2 「……を以つて」とは、どういう意味ですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。（2点）

ア ……を保持しながら　イ ……を使用して

ウ ……を理由として　エ ……を区切りとして

(8) 出る 次の訓読文の漢字は、どんな順に読みますか。読む順に、□に算用数字を入れて答えなさい。（完答5点×2）

A　誉メレ□　之ヲ□　曰ハク□

B　莫キニ□　能ク□　陥スモノ一□　也。□

(9) 次の訓読文を後のように書き下し文に直すとき、□に当てはまる平仮名を書きなさい。（5点×2）

「吾ガ盾　之　堅キコト、莫キニ　能ク　陥スモノ一　也ト。」

→「吾が盾□堅きこと、能く陥すもの莫き□。」と。

2 次の故事成語の意味を書きなさい。（計10点）

(1) 出る 推敲（5点）

(2) 五十歩百歩（5点）

定期テスト 得点UP問題

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（計74点）

得点　　/100

楚人に①ⓐ盾とⓑ矛とを鬻ぐ者有り。②之を誉めて曰はく、(あ)「③吾が盾の堅きこと、能く陥すもの莫きなり。」と。又、其の矛を誉めて曰はく、(い)「吾が矛の④利きこと、物に於いて陥さざる無きなり。」と。或ひと曰はく、(う)「⑤子の矛を以つて、子の盾を陥さば、何如。」と。⑥其の人応ふること能はざるなり。

〈「矛盾」より〉

(1) 〰〰線ⓐ・ⓑの漢字に読み仮名を書きなさい。（2点×2）

ⓐ

ⓑ

(2) ——線①「盾と矛とを鬻ぐ者」について、次の各問いに答えなさい。

1 「鬻ぐ」を現代語に直しなさい。（3点）

2 「盾と矛とを鬻ぐ者」の言葉ではないものを、文章中の(あ)〜(う)から一つ選び、記号で答えなさい。（3点）

3 「盾と矛とを鬻ぐ者」以外の登場人物を表す言葉を、文章中から抜き出しなさい。（3点）

(3) ——線②「之を誉めて曰はく」を、「之」の指示内容を明らかにして現代語に直しなさい。（5点）

(4) ——線③「吾が盾の堅きこと、能く陥すもの莫きなり。」は、「私の盾の堅いこと（といったら）、突き通せるものはないのだ。」という意味ですが、これと同じ意味になるように、二十五字以内の別の表現に書き直しなさい。（10点）

(5) 「盾と矛とを鬻ぐ者」が「矛」をほめている言葉を、文章中から抜き出しなさい。（5点）

(6) ——線④「利き」とありますが、ここでの意味を含む熟語を次から一つ選び、記号で答えなさい。（3点）

ア 利害　イ 鋭利　ウ 勝利　エ 利口

(7) ——線⑤「子の矛を以つて、子の盾を陥さば、何如。」について、次の各問いに答えなさい。

1 現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書きなさい。（4点）

2 意味を説明した次の文の□に当てはまる言葉を、文章中からそれぞれ抜き出しなさい。（4点×2）

・あなたの□で、あなたの□を突いたら、どうなるか。

(8) ——線⑥「其の人応ふること能はざるなり。」は、「その人は答えることができなかった。」という意味ですが、「答えること」ができなかったのはなぜですか。「つじつま」という言葉を使って、三十字以内で書きなさい。（10点）

(9) この話からできた「故事成語」を1漢字二字で書きなさい。また、2その意味を□に書きなさい。（1＝3点、2＝5点）

1 故事成語

2 意味

(10) 次の書き下し文に合うように、後の訓読文に返り点を一つ補いなさい。（4点×2）

1 之を誉めて曰はく

誉メ　之ヲ　曰ハク

2 能く陥すもの莫きなり

莫キ　能ク　陥スモノ一　也

2 次の各問いに答えなさい。（計26点）

(1) 次の故事成語の意味を書きなさい。（4点×2）

1 背水の陣

2 蛇足

(2) 次の故事成語の意味を後から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。（3点×2）

1 温故知新

ア 新しいことと古いことの違いを比べること。

イ 新しいことに古いことを組み入れていくこと。

ウ 古いことを研究し、そこから新たに発見すること。

エ 古いことは忘れ、新しいものを極めようとすること。

2 杞憂

ア 無用の心配のこと。　イ 突拍子もない話のこと。

ウ 沈んだ気分のこと。　エ 夢のような幸福のこと。

(3) 次の故事成語と同じ意味を表すものを後から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。（3点×2）

1 五里霧中

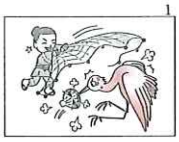
ア 画竜点睛　イ 暗中模索　ウ 呉越同舟　エ 四面楚歌

2 五十歩百歩

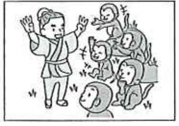
ア 蛍雪の功　イ 漁夫の利　ウ 完璧　エ 大同小異

(4) 思考力・判断力・表現力 次の絵が表している故事成語は何ですか。それぞれ四字で書きなさい。（3点×2）

1



2



定期テスト 得点UP問題

得点　　／100

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

チョウを右手に隠して、僕は階段を下りた。そのときだ。下の方から誰か僕の方に上がってくるのが聞こえた。その瞬間に僕の良心は目覚めた。僕は突然、①自分は盗みをした、下劣なやつだということを悟った。同時に見つかりはしないか、という恐ろしい不安に襲われて、僕は本能的に、獲物を隠していた手を、上着のポケットに突っ込んだ。ゆっくりと僕は歩き続けたが、大それた恥ずべきことをしたという、冷たい気持ちに震えていた。上がってきたお手伝いさんと、びくびくしながら擦れ違ってから、僕は胸をどきどきさせ、額に汗をかき、落ち着きを失い、自分自身におびえながら、家の入り口に立ち止まった。

②すぐに僕は、このチョウを持っていることはできない、持っていてはならない、元に返して、できるなら何事もなかったようにしておかねばならない、と悟った。そこで、人に出くわして見つかりはしないか、ということを極度に恐れながらも、急いで引き返し、階段を駆け上がり、一分ののちにはまたエーミールの部屋の中に立っていた。僕はポケットから手を出し、チョウを机の上に置いた。それをよく見ないうちに、僕はもうどんな不幸が起こったかということを知った。そして泣かんばかりだった。③クジャクヤママユは潰れてしまったのだ。前羽が一つと触角が一本なくなっていた。ちぎれた羽を用心深くポケットから引き出そうとすると、羽はばらばらになっていて、繕うことなんか、もう思いもよらなかった。

盗みをしたという気持ちより、自分が潰してしまった美しい珍しいチョウを見ているほうが、僕の心を苦しめた。微妙なとび色がかった羽の粉が、自分の指にくっついているのを見た。また、ばらばらになった羽がそこに転がっているのを、僕は見た。それをすっかり元どおりにすることができたら、僕はどんな持ち物でも楽しみでも、喜んで投げ出したろう。

悲しい気持ちで僕は家に帰り、夕方までうちの小さい庭の中で腰かけていたが、ついに一切を母に打ち明ける勇気を起こした。母は驚き悲しんだが、既にこの告白が、どんな罰を忍ぶことより、僕にとって、つらいことだったということを感じたらしかった。

「おまえは、エーミールのところに、行かねばなりません。」と母はきっぱりと言った。「そして、自分でそう言わなくてはなりません。それよりほかに、どうしようもありません。おまえの持っているもののうちから、どれかを埋め合わせにより抜いてもらうように、申し出るのです。そして許してもらうように頼まねばなりません。」

あの模範少年でなくて、ほかの友達だったら、すぐにそうする気になれただろう。④彼が僕の言うことを分かってくれないし、恐らく全然信じようともしないだろうということを、僕は前もって、はっきり感じていた。かれこれ夜になってしまったが、僕は出かける気になれなかった。母は僕が中庭にいるのを見つけて、「今日のうちでなければなりません。さあ、行きなさい！」と小声で言った。それで僕は出かけていき、エーミールは、と尋ねた。彼は出てきて、すぐに、誰かがクジャクヤママユを台なしにしてしまった、悪いやつがやったのか、あるいは猫がやったのか分からない、と語った。僕はそのチョウを見せてくれと頼んだ。二人は上に上がっていった。彼はろうそくをつけた。僕は台なしになったチョウが展翅板の上に載っているのを見た。エーミールがそれを繕うために努力した跡が認められた。壊れた羽は丹念に広げられ、ぬれた吸い取り紙の上に置かれてあった。しかしそれは直す由もなかった。触角もやはりなくなっていた。そこで、それは僕がやったのだと言い、詳しく話し、説明しようと試みた。

すると、エーミールは激したり、僕を怒鳴りつけたりなどはしないで、低く、ちぇっと舌を鳴らし、しばらくじっと僕を見つめていたが、それから⑤「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。」と言った。

僕は彼に僕のおもちゃをみんなやると言った。それでも彼は冷淡に構え、依然僕をただ軽蔑的に見つめていたので、僕は自分のチョウの収集を全部やると言った。しかし彼は、「けっこうだよ。僕は君の集めたやつはもう知っている。そのうえ、今日また、君がチョウをどんなに取り扱っているか、ということを見ることができたさ。」と言った。

その瞬間、⑥僕はすんでのところであいつの喉笛に飛びかかるところだった。もうどうにもしようがなかった。僕は悪漢だということに決まってしまい、エーミールはまるで世界のおきてを代表でもするかのように、冷然と、正義を盾に、侮るように、僕の前に立っていた。彼は罵りさえしなかった。ただ僕を眺めて、軽蔑していた。

そのとき初めて⑦僕は、一度起きたことは、もう償いのできないものだということを悟った。僕は立ち去った。⑧母が根掘り葉掘り聞こうとしないで、僕にキスだけして、構わずにおいてくれたことをうれしく思った。僕は、床にお入り、と言われた。僕にとってはもう遅い時刻だった。だが、その前に僕は、そっと食堂に行って、大きなとび色の厚紙の箱を取ってき、それを寝台の上に載せ、闇の中で開いた。そして⑨チョウを一つ一つ取り出し、指で粉々に押し潰してしまった。

〈ヘルマン・ヘッセ／高橋健二訳「少年の日の思い出」より〉

(1)　——線①「自分は盗みをした、下劣なやつだ」とありますが、これと同じ気持ちが書かれている部分を、文章中から十三字で抜き出しなさい。（5点）

(2)　——線②「すぐに僕は、このチョウを持っていることはできない、……何事もなかったようにしておかねばならない、と悟った。」とありますが、「僕」がそのように思ったのはなぜですか。「盗み」と「罪」という言葉を使って、三十字以内で書きなさい。（10点）

(3)　——線③「クジャクヤママユは潰れてしまったのだ。」とありますが、どういう経過で潰れてしまったのですか。「『僕』は、クジャクヤママユを右手に隠し、……」に続くように、三十字以上三十五字以内で書きなさい。（15点）

「僕」は、クジャクヤママユを右手に隠し、

(4)　クジャクヤママユを潰してしまったことに対する深い後悔や、クジャクヤママユをかけがえのないものだと思う「僕」の気持ちが表れている一文を文章中から抜き出し、初めの五字を書きなさい。（10点）

(5)　——線④「彼が僕の言うことを分かってくれないし、恐らく全然信じようともしないだろう」とありますが、「僕」はどのようなことを分かってほしかったのですか。次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。（5点×2）

・最初からクジャクヤママユを□つもりだったわけではなく、まして□気など全くなかったということ。

⇐問題は次ページに続きます。

(6)　——線⑤「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。」とありますが、エーミールは「僕」がどのようなやつだと言っているのですか。適切なものを二つ選び、記号で答えなさい。（5点×2）

ア　すぐに謝りに来ない、ずるいやつ。
イ　人のものを平気で盗むやつ。
ウ　友達に対してうそをつくやつ。
エ　謝れば済むと考える単純なやつ。
オ　チョウを乱暴に扱うやつ。

(7)　——線⑥「僕はすんでのところであいつの喉笛に飛びかかるところだった」とありますが、それはなぜですか。「自負」という言葉を使って、三十字以内で書きなさい。（15点）

(8)　——線⑦「僕は、一度起きたことは、もう償いのできないものだということを悟った」とありますが、「僕」はこのことをどのような体験によって悟ったのですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（5点）

ア　謝罪や弁償では済まされず、相手が自分を罵る言葉を、黙って聞いているしかなかったこと。
イ　何をもってしても取り返しがつかず、自分が悪で相手が正義という構図を受け入れ、軽蔑に耐えるしかなかったこと。
ウ　品物によっては償うことができず、心からの謝罪をすることによってしか、相手の許しを得ることができなかったこと。
エ　ただ謝罪するだけでは許されず、壊してしまったものと同等の物を渡すことでしか物事が解決しなかったこと。

(9)　——線⑧「母が根掘り葉掘り聞こうとしないで、僕にキスだけして、構わずにおいてくれたことをうれしく思った。」とありますが、このときの母の気持ちとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（5点）

ア　息子に深い反省を促そうという気持ち。
イ　息子が正直に謝りに行ったことを喜ぶ気持ち。
ウ　息子の傷ついた心をいたわる気持ち。
エ　息子の心を何とか理解しようとする気持ち。

(10)　——線⑨「チョウを一つ一つ取り出し、指で粉々に押し潰してしまった」について、次の各問いに答えなさい。

1　このときの「僕」の心が反映された情景を表した言葉を、文章中から三字で抜き出しなさい。（3点）

2　**思考力・判断力・表現力**　次の会話文は、——線⑨の行為に込められた意味について、生徒たちが話し合ったときのものです。□A・Bに当てはまる言葉を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。（6点×2）

林　直前で「僕」が悟った内容を踏まえると、この行動にはいくつかの意味があり、その後の「僕」の人生に大きな影響を与えたと思う。
藤　そうだね、チョウを一つ一つ潰して粉々にして二度と戻せないようにするということは、[A]を象徴しているのではないかな。
枝　ほかにも、エーミールが「僕」に対して償いの機会を与えなかったことを考えると、[B]という意味もあったのかもしれないね。

ア　チョウへの熱情を抱いた少年時代との決別
イ　自分の身の潔白の証明
ウ　エーミールとの友情の断絶
エ　罪を犯した自分への罰
オ　壊れてしまったチョウに対する八つ当たり

A □
B □